

日野市公の施設の指定管理者市民評価に係る審議報告書

平成 31 年（2019 年）3 月 15 日

日野市指定管理者市民評価委員会

平成 31 年（2019 年）3 月 15 日

日野市長 大坪 冬彦 様

日野市指定管理者市民評価委員会
委員長 坪 島 尚

日野市指定管理者市民評価に係る審議報告書

日野市では、指定管理者制度を導入している公の施設の管理・運営について、市民の視点で評価を行うことを目的として、日野市指定管理者市民評価委員会設置要綱に基づき日野市指定管理者市民評価委員会（以下「市民評価委員会」という。）を設置しています。

平成 30 年度の市民評価委員会の評価委員として我々 4 名が委嘱を受け、平成 27 年度または平成 29 年度に指定管理者制度を導入または更新した施設の管理・運営について、指定管理者の実績評価を厳正かつ公正に審査を行い、このたび評価が終了しましたので、評価結果を次のとおり報告いたします。

1 審査・評価対象施設及び指定管理者

- (1) 日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ
社会福祉法人雲柱社
- (2) 日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと
公益財団法人社会教育協会日野社会教育センター
- (3) 日野駅西駐輪場ほか 3 施設
株式会社 日野市企業公社
- (4) 市営自転車等駐車場（全 33 施設）
日駐研・高見沢共同事業体

2 指定期間

審査・評価対象施設	指定期間	年数
日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ	平成 27 年（2015 年）4 月 1 日から 平成 32 年（2020 年）3 月 31 日	5 年間
日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと	平成 27 年（2015 年）4 月 1 日から 平成 32 年（2020 年）3 月 31 日	5 年間
日野駅西駐輪場ほか 3 施設	平成 29 年（2017 年）4 月 1 日から 平成 32 年（2020 年）3 月 31 日	3 年間
市営自転車等駐車場（全 33 施設）	平成 27 年（2015 年）4 月 1 日から 平成 32 年（2020 年）3 月 31 日	5 年間

3 委員会日時

第1回 平成31年1月9日(水) 午後1時30分から午後5時15分まで
主な議題：委員長及び副委員長の選出、評価基準の決定及び現地視察。

視察施設：駐輪場(日野駅・豊田駅・平山城址公園駅・南平駅周辺)、日野市立みなみだいら児童館ふらねっと、日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ

第2回 平成31年1月23日(水) 午後1時30分から午後3時30分まで
主な議題：指定管理者による報告及び質疑応答等

- ・日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ
- ・日野市立みなみだいら児童館ふらねっと

第3回 平成31年1月30日(水) 午後1時30分から午後4時00分まで
主な議題：指定管理者による報告及び質疑応答等、まとめ

- ・日野駅西駐輪場ほか3施設
- ・市営自転車等駐車場(全33施設)

4 評価基準

日野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条第1号から同条第5号の基準に準拠し、基本評価3項目(A評価)30点満点、施設ごとの評価4項目から5項目(B評価)30点満点、合計60点満点とする評価を行いました。各項目について1委員あたり5点満点評価で行い、重要項目に倍率が設定されています。各委員の評価を合計して平均値を評価点としました。(小数点以下第2位を四捨五入)

5点 優れている

4点 概ね満たされ一部に優れたところがある

3点 概ね満たされている。

2点 一部に課題がある

1点 課題も多く改善の必要がある

5 評価方法

我々評価委員は、指定管理者の執行した業務内容について、各指定管理者からA、B評価基準に基づく意見聴取を行うとともに、指定管理者が退出の後、主管課へ意見聴取し、指定管理者選定時に指定管理者から提案のあった事業ならびに、協定締結内容の履行状況等を確認し、審査・評価を行いました。

6 評価の結果

	施設名	指定管理者	評価点 (60点満点)	得点率 (60点満点中)
1	日野市立たまだいら児童館 ふれっしゅ	社会福祉法人雲柱社	51.0	85.0%
2	日野市立みなみだいら児童館 ぷらねっと	公益財団法人社会教育協会 日野社会教育センター	48.0	80.0%
3	日野駅西駐輪場ほか3施設	株式会社日野市企業公社	46.0	76.7%
4	市営自転車等駐車場 (全33施設)	日駐研・高見沢共同事業体	40.8	68.0%

7 評価・意見・要望

○日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ（指定管理者：社会福祉法人雲柱社）

- ・しっかり管理・運営を行っている。当該施設の指定管理者としての実績も長く、時間の経過とともに良くなっていることを評価する。
- ・「移動児童館（げんきっず）」は、前回の選定委員会で紹介を受けたが、児童館まで足を運べない乳幼児親子へのプログラムに定番化されていることを評価する。
- ・家庭で不要になった「子供の服リサイクル」は、利用者に喜ばれる良い取組みとして評価する。
- ・午後7時までの開館延長や日曜日開館は市民サービスに繋がっていると評価する。
- ・様々な事業を実施している。全て事業報告書に記載していただきたい。
- ・児童館は高校生世代も対象としている。高校生は、中学校まで利用していた児童館区域以外の学校に通学することになり、不登校や非行に走る等の状況が見えなくなる。児童館には高校生の居場所づくりにも注力していただきたい。
- ・児童館の利用状況について、初めて来館された方の割合、来館者の満足度はどうか等分析をし、質的な評価をして、運営の参考にしていただきたい。
- ・安全対策はしっかり対応しているように見受けるが、事故は起きている。来館者が多い施設として、さらなる安全対策を行っていただきたい。
- ・子供を取り巻く社会環境は変化している。現在の子供の能力は高く、また多くのスキルを身に付けなければならない環境にある。これに対し、児童館が行っている事業のあり方は変化していないのではないかと感じる。時代に即した新しい取組みが事業報告書でわかるようにしていただきたい。
- ・収支が黒字になった場合、その一部を備品購入やイベント開催等により、市民サービスに還元していただきたい。

○日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと

(指定管理者：公益財団法人社会教育協会日野社会教育センター)

- ・しっかり管理・運営している。当該施設の指定管理者としての実績も長く、時間の経過とともに良くなっていることを評価する。
- ・前回の市民評価委員会において要望した「利用者が迷わずに行けるように、目印となる看板等の設置」については、屋上に看板、フェンスにのぼりを設置いただき、評価する。さらに、南平駅への案内矢印設置を関係先と交渉して実現していただきたい。
- ・若い世代の利用者が増えている。年齢に応じたコースを限られた指定管理料で実施している。激励したい。
- ・地域団体との協働・連携で多数の事業を実施していることを評価する。
- ・事業報告書の収支状況について、予算額と決算額の収支が3か年で0円収支となっている。しかし、節電により黒字になる、また、予算額に不足があり赤字になるなど、通常は、個々の費目では必ずしもびったり一致するケースは少ないのではないかと思われる。本部の経費の調整で全体の数値を合せているのかという疑問がある。納得できる適正な指定管理料となるように精査していただきたい。その中で、指定管理料で賄えない場合、必要経費は要求して良いのではないか。

○日野駅西駐輪場ほか3施設（指定管理者：株式会社日野市企業公社）

- ・現地視察により、施設を綺麗に管理していることを確認した。
- ・施設周辺の放置自転車も減少しているようなので、市が駐輪場を設置する目的に合致した方向に向かっていると評価する。
- ・有人管理駐輪場として、3交代制や月末月初の2名体制等で利用者サービス向上に取り組まれていることは評価する。
- ・平山城址公園駅前バイク置き場は、屋根取り付けやインパクトある掲示案内等を検討していただきたい。
- ・前回の市民評価委員会で要望した「防犯カメラ設置」と「レンタサイクル事業等の自主事業の提案」が実施・実行されていなかったことは残念である。

○市営自転車等駐車場（全33施設）（指定管理者：日駐研・高見沢共同事業体）

- ・有料化する前と比較すると、駐輪場が綺麗になり、また、自転車が道路へはみ出すということも無くなり、評価する。
- ・利用者を増やすための努力をしていただきたい。駐輪システムは、無人であっても高齢者等でも簡単に利用できることを周知するなど工夫していただきたい。
- ・扉を壊していく利用者があるとの説明があったが、使い方がわからなくて壊していく可能性もあるため、現状が完全ではないという認識を持っていただきたい。
- ・駐輪場施設に指定管理者名や連絡先の掲示表示を大きくする、また、「利用者募集中」の看板を出す等インパクトあるPRを実施し、利用者を増やしていただきたい。
- ・当初定期利用の駐輪場を、一般利用（一時利用）でも可能に変更して利用者増に繋げていることは評価するが、利用者への情報発信をタイムリーに、実施してい

ただきたい。

- ・夜間は照明が薄暗いところがあると聞く。照明の LED 化等対応について、市と協議し、どちらが主導的に行うかは別として実現に向け検討していただきたい。
- ・扉を壊していく利用者等、不法行為への対策として、センサーライトを付ける等の方法もあるのではないか。こちらも市との協議となると思われるが検討していただきたい。
- ・毎年多額な損失決算が続いている。有料化に伴い、近隣無料駐輪場や利便性ある民間駐輪場への利用者のシフトを主因としているが、駐輪システムの動作不良も影響していると考ええる。不具合の撲滅に取り組んでいただきたい。
- ・2 種類のレンタサイクルサービス（定期利用のサイクルシェアリング、観光等で使用する当日のみのレンタサイクル）については、近隣の大学、企業や観光協会と連携して実績を増やしていただきたい。

8 評価全体の総括

今回実施した市民評価委員会は、平成 27 年度または平成 29 年度に選定した指定管理者が管理・運営を行っている状況について、指定期間のうち既に終了している平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間（平成 28 年度に選定した施設については、平成 29 年度 1 年間）の実績と現地視察で感じた事項を基に審査・評価を行いました。

市民評価委員会では、指定管理者および主管課に対する質疑応答を行い、管理・運営についてチェックをしました。

7 の評価・意見・要望にも挙げましたが、今回評価した指定管理者 4 者とも概ね一定の成果を上げており、一生懸命に様々な努力していることが感じられ、良い評価をすることができます。しかし、事業報告書の収支状況の費目がわかりづらい等、いくつか改善すべき点が見受けられました。

協定期間の残期間はあと 1 年余となりましたが、意見、要望として取り上げた項目について、最終年度の事業計画に反映させていただき、更なる市民サービスの向上に努めていただくことを希望します。

(市民評価委員会の運営方法について)

- ・指定管理者による報告時間が短い。倍程度の時間を確保することを検討していただきたい。
- ・評価にあたり、まず主管課の考え方（施設の設置目的や管理運営方針等）を確認しておきたい。その方針と合致しているかという視点で質疑、評価する必要がある。
- ・同様施設を市が直営管理している場合は、施設のトータルコストはいくらか、利用者一人あたりのコストはいくらか比較できる資料を用意していただきたい。

(市への要望)

- ・事業報告書の収支状況の費目は、市として統一名称(内容)を使用していただきたい。
- ・毎年収支が 0 円という施設は、事業者本部経費などで調整し、全体の数値を合せているのかという疑念が起きるため、納得できる適正な収支となるように指導してい

ただきたい。その上で、収支がプラスになる場合は、事業者の経営努力という面も否定できないため一概には言えないが、市には税金で運営しているという意識を持ち、精査すべき点はあるかという視点に立ち、指定管理料の金額の再検討をしていただきたい。その際に、収益分の一定割合を決めるなどして市民サービス向上につながる使い方ができるように、公募や事前協議、協定の段階で検討、工夫をしていただきたい。

- ・市営自転車等駐車場（33 施設）については、指定管理者導入の施設として仕様が妥当であったかどうか市としても検証していただきたい。

9 市民評価委員名簿

委員長	坪島	尚
副委員長	吉澤	武子
	岩崎	嘉壽子
	高橋	利彦